# EDIUS 3D 編集機能 簡易マニュアル

本マニュアルは、EDIUSのベータ版機能である 3D 編集機能についてのみ記載した簡易マニュアルです。

### 3D編集を行うための準備

プロジェカト語定

EDIUS を起動し、プロジェクト設定の[立体視編集]を[有効]に設定します。

[プロジェクトの新規作成]を選択し、[プロジェクト設定]の[プリセットを変更して使用する]にチェックを付けて からプリセットを選択して[プロジェクト設定]を開きます。

もしくは、EDIUS 起動後にメニューバーの[設定]から[プロジェクト設定]を選択し、[現在の設定を変更]を選択して[プロジェクト設定]を開きます。

▼ 詳細設定( <u>D</u> )		TO-BUILDER L/F	00.00.00
		10,99291(2)	00:00:00
フレームサイズ(S) 🔢	920 × 1080 👻	TCモード(M)	ドロップフレーム
72.ペクト比(P) 📝	· አንግኮብ ምአለሳት 16:9 🚽	予定全長(L)	
フレームレード(R) 🔤	9.97 👻		3 %
	- (オフィールド 🗸	音声基準レベル(N)	-20.0 dB 👻
ビデオ母子(ビビット34(7) 部	sit	パンモード(G)	標準
		カラースペース変換( <u>S</u> )	標準
	4.747	トラック (デフォルト)	
立1年現備来 4	4 <i>XD</i>	V1-5%5VD	
サンプリングレード①	π¢h	VAトラック(Q)	
チャンネル(Q) 80	ch 👻	Tトラック(1)	

次回以降も同じ設定のプロジェクトで編集を行う場合は、プリセットを作成しておくと便利です。EDIUS 起動後、 メニューバーの[設定]から[システム設定]を選択します。

[アプリケーション]のツリーから[プロジェクトプリセット]を選択し、[新規プリセット]をクリックしてプリセットの登録を行います。3D 編集のプリセットを作成する場合は、詳細設定の[立体視編集]を[有効]に設定してください。

現在編集しているプロジェクト設定をプリセット登録する場合、[プリセット呼び出し]を選択し、現在の設定を 呼び出してから登録すると便利です。

### 編集するクリップを選択します。

リムーバブルメディアタイプのクリップはソースブラウザーから、ファイルタイプのクリップはビンから読み出 します。EDIUSで編集可能な立体視対応クリップは、3DA1 (Panasonic)、MVC (Sony, Panasonic, JVC)、3D P2 (Panasonic)、3D コンバージョンレンズ等で撮影された 3D クリップとなります。

3DA1 stereo 3Dのクリップの場合、SDカードを2枚メモリカードスロットに装着すると、2枚のSDカードのフォ ルダとは別に立体視フォルダが追加されます。

L(左)とR(右)のクリップが別々になっている場合、立体視化を行います。立体視化の手順は、「L/Rが個別になっているクリップを立体視化する」を参照してください。



# L/Rが個別になっているクリップを立体視化する

L(左)とR(右)が別々になっているクリップを立体視化する場合、立体視化したいクリップを2つ 選択し、右クリックで表示されるメニューから[立体視化]を選択します。 [立体視設定]が開きます。立体視化を解除する場合は、[立体視化解除]を選択します。







立体視設定

プロパティ 1本化された3Dクリップでクリップ の種類が判別できない場合、ビンの クリップ上で右クックして表示され るメニューから[プロパティ]を選択 し、[立体視情報]タブで分離形式の選 択を行うことができます。

L と R のクリップの入れ替えや同期方

法等の設定を行うことができます。

# <u>プレビューウィンドウの立体視モードを変更する</u>

プレビューウィンドウの立体視モードを変更する場合、メニューバーから[表示]を選択し、[立体 視モード]を選択して 3D のプレビューモードを設定します。



- NVIDIA 3D VISIONに対応したシステムの場合、[L/R デュアルスト ーム]を利用することができます。
- ・メニューバーの[設定]から[ユーザー設定]を選択し、[プレビュー]ツリーの[フルスクリーンプレビュー]で、NVIDIA 3D
   VISION に関する設定を行うことができます。
- ・D3D 全画面モードでのみ使用可能です。
- ・3D VISION が適用されるのはプライマリモニタのみです。

# <u>ビデオフィルターを適用する</u>

ビデオフィルターを適用することができます。 ここでは、[立体視調整]を選択しています。



エフェクトの適用は、 **L R** スイッチにより L のみ、 R のみ、 L / R 両方に切り替えることができ ます。



### [インフォメーション]タブの[立体視調整]をダブルクリックし、設定を行います。 [立体視調整ダイアログ]が開きます。L とR クリップのずれ等の調整に使用します。

立体視調整ダイアログ				□ ×
自動調整 🔻 7-	191(E)			
水平オフセット: 奥		手前 0.0000		
マスクレ: 最小	1	最大 0.0000		
マスクR: 最小		最大 0.0000		
□ 自動トリミング(A)				
 トリミング: 最小 (	1	■ 最大 <u>0.0000</u>		
左目				
□ ホモフリップ □ 垂	直フリップ 🗌 水平フリッ	ブ 🗌 垂直フリップ		
( 7/7K(F) ▼ )	<b>₽</b> = e ⊵	00.00.00	100:00:05:00	100.00:10
▼□ 立体視調整	4 * >			6
	4*>			
	4++			
	4**			
Cur: 00:00:02:24 TH: 00:0	n:n2·24			
		-		
ADAMIE(D)				キャノセル

#### 自動調整

自動調整を行う基準を選択します。[自動調整]は、[左目を基準に調整] と[右目を基準に調整]の中間の設定になります。 上下左右傾きのずれが大きい場合、自動調整+フィット(上下左右傾き の自動調整とフィット)と水平オフセット(奥行きの調整)の組み合わ せが便利です。

#### フィット

映像を調整した時に出た黒枠が消えるトリミング値を自動的に 設定します。

#### 水平オフセット

左目と右目の画像の水平方向の配置を調整します。

#### マスクL/R

映像の左端(L)、右端(R)を黒でマスクします。

#### 自動トリミング

映像を調整した時に出た黒枠が消えるように自動的に倍率を調 整します。チェックを付けるとトリミングとフィットの設定が 無効化されます。

#### 水平フリップ

反転したカメラの画像をフリップします。

#### 垂直フリップ

ミラーリングや反転したカメラの画像をフリップします。

### [インフォメーション]タブの[レイアウター]をダブルクリックします。

[レイアウター]が開きます。3Dクリップと静止画との組み合わせ時等の調整に使用します。



#### レンズ間距離

左右のカメラ間の距離を指定します。フレームの高さを 100% としたときの相対値です。

#### ゼロ視差距離

近平面から視差がつかない平面までの距離を指定します。

# <u>アルファキークリップで合成する</u>

透過度情報をもったクリップと合成することができます。



# <u>編集後のプロジェクトをエクスポートする</u>

### [エクスポート]では、出力時の立体視に関する設定を行うことができます。

選択したファイル形式により[立体視化処理]で選択できる処理方法が異なります。

3D 編集のプロジェクトは、L とR のクリップを個別化もしくは1 本化(1本化されたクリップにL/R の2 本のスト リームが含まれているフォーマットも有り)したファイルで出力できます。再生する機器や対応するフォーマット に適した設定を行ってから出力を行ってください。

ファイルへ出力		X
既定のエクスポーター 最近使ったエクスポーター マイガリセクト マイガリセクト マイン AVL Ganopus HO Ganopus Lossless DV DVCPRO HD	エクスポーター <b>フリセット</b> 日 Caropus HO 高面質 日 Caropus HO 標準 日 Caropus HO オフライン 日 Caropus HO オフライン 日 Caropus HO オフタイン 1920x1080	説明 ホンライン(信頼) オンライン(信頼) オンライン(信頼) オンライン 1920-1980 15.9
	🗄 Canopus HQ AVI	Canopus HQ圧縮AVIファイルエクスポーターブ
- - - - - h/Out点間のみ出力する(B) - 変換処理を有効にする(E) - -	<ul> <li>□ タイムコードを表示する(T)</li> <li>☑ 16bit/2chで出力する(C)</li> </ul>	検索(S)
Lineを Lineを Lineを Lineを Lineを Lineを Lineを Lineの出す		
ラインイク プレンド 差分	ューリーブ	

#### ご注意

- ・[プロジェクト設定]で[立体視編集]を[有効] に設定していない場合、立体視に関する設定は 表示されません。
  - →「3D 編集を行うための準備」を参照
- ・H.264 MVC(Blu-ray 3D)は未対応です。